

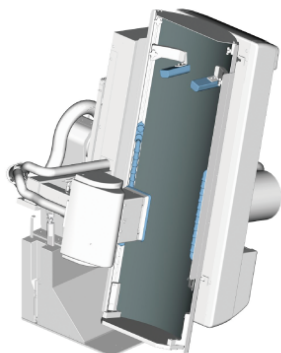
Canon

胸・腹部集団検診用 X線診断装置
胃・胸部集検用デジタル X線システム

SREX-D32C

Aitella

オペレーションガイド
胃部編



・このガイドには、操作の一例を記載しています。
・詳しい操作方法は、システム付属の取扱説明書をご覧ください。
・Aitellaは、キヤノンメディカルシステムズ株式会社の商標です。

準備

- 1 はじめに p.02
- 2 始業点検 (電源ON前) p.03
- 3 補助支脚の取り外し p.04
- 4 各種電源ON p.05
- 5 始業点検 (電源ON後) p.06

検査

- 6 ログイン p.07
- 7 メディアのセット、検査開始 p.07
- 8 撮影開始前の確認 p.08
- 9 胃部撮影 p.09
- 10 収集画像の確認 p.12
- 11 検査終了 p.12
- 12 収集画像の再確認 p.13
- 13 不要な画像の削除指定 p.13
- 14 画像確認 p.14
- 15 画像保存 p.15

終了

- 16 シャットダウン p.16
- 17 撮影台の設定 p.17
- 18 各種電源OFF p.17
- 19 補助支脚の取り付け p.18
-
- ? こんなときは p.19

胃・胸部集検デジタルX線システム SREX-D32C Aitella オペレーションガイド

キヤノンメディカルシステムズ株式会社
ドキュメンテーション部
2019. 10. 9

1. キヤノンメディカルシステムズとは

X線



CT



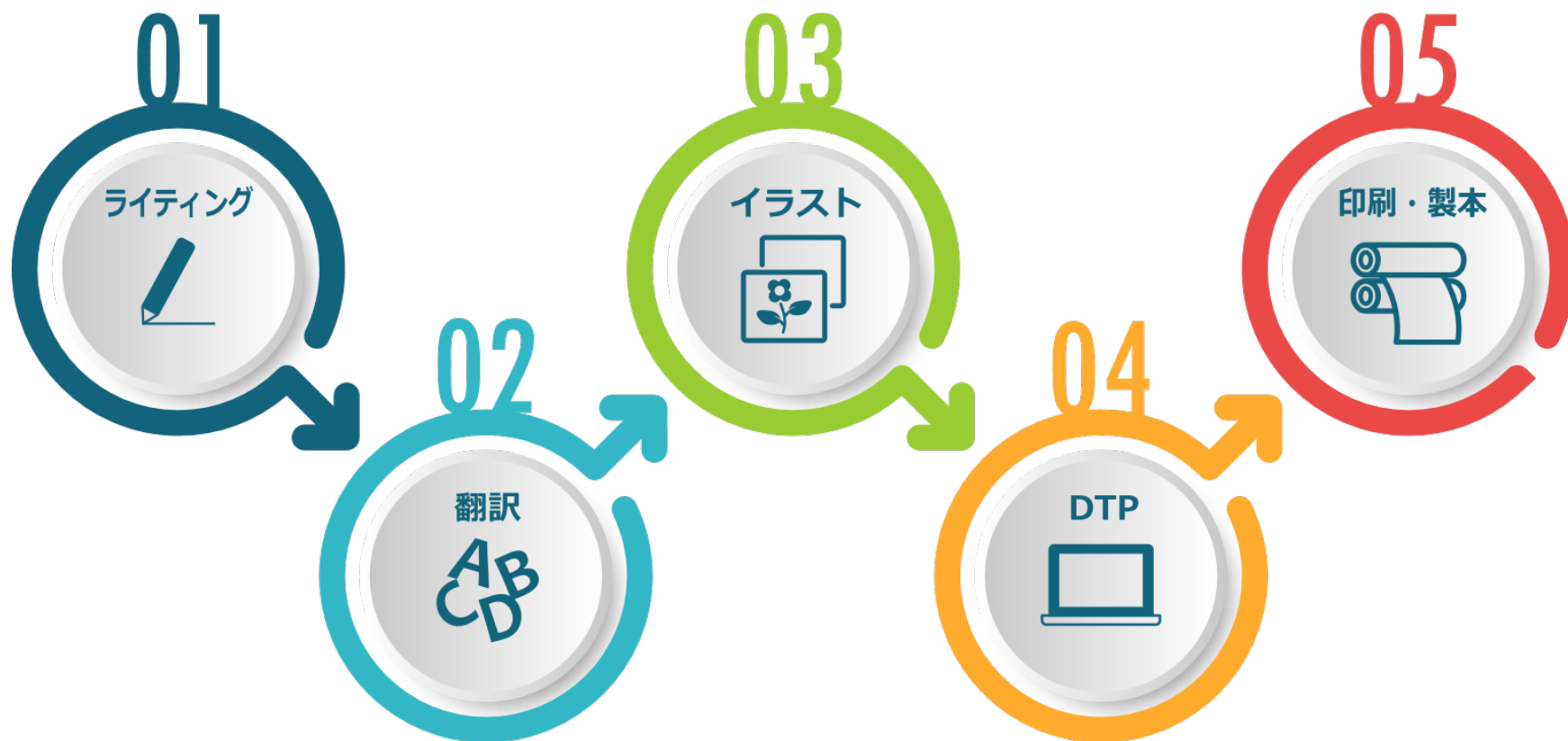
MRI



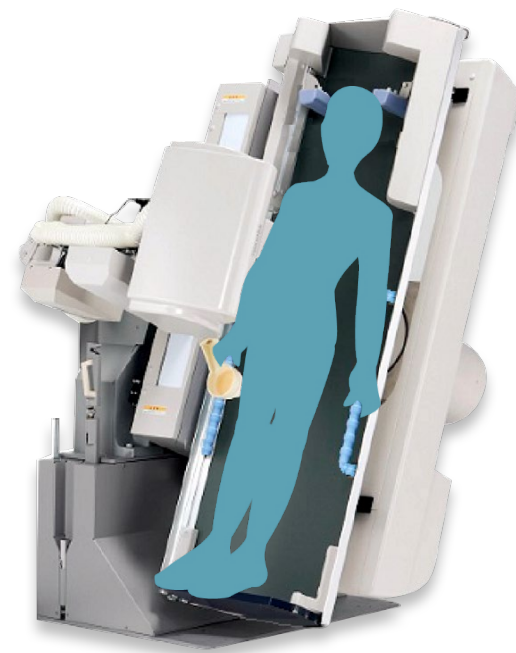
超音波
診断
システム



2. ドキュメンテーション部とは



3. Aitellaとは



Aitellaは、キヤノンメディカルシステムズ株式会社の商標です。

4. オペレーションガイドの作成経緯

ある日

ライターが胃部検査中、ふと思いつきました。

「こんな狭い車内で、取扱説明書は
どうやって使われているのだろう？」

「今の取扱説明書は
使いやすいのだろうか？」



取扱説明書が使われる現場を確認してみたい！
もし現場に合わないところがあれば、改善しよう！



と、思いました。

5. 取扱説明書が使われる環境と問題点（1）

問題点

1

スペースがない

取扱説明書を開くとA3サイズになり、場所を取る。開いた状態を保つには、手で押さえておく必要がある。

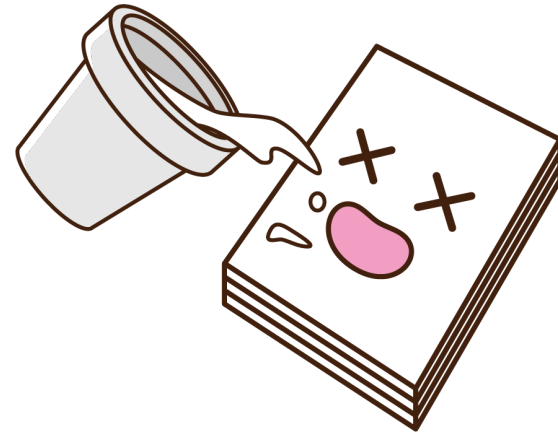


問題点

2

防水仕様ではない

バリウムなどが取扱説明書に付着するおそれがある。



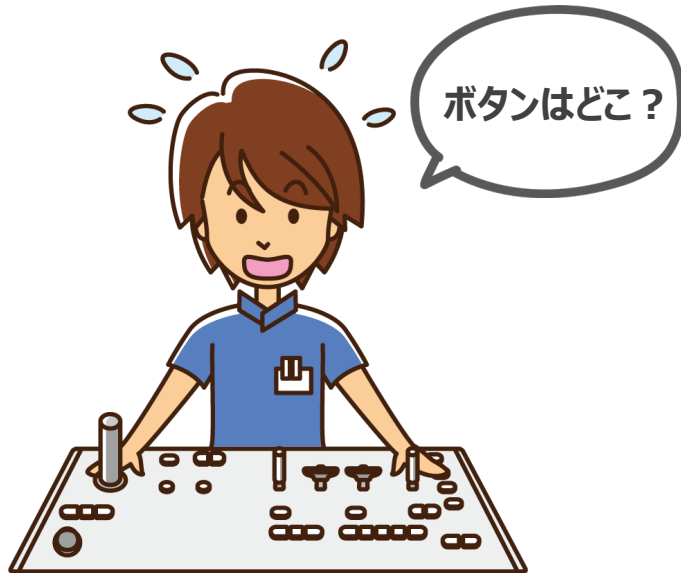
5. 取扱説明書が使われる環境と問題点（2）

問題点

3

操作に慣れていない技師さんが使う

他のメーカーの装置を使っている技師さんが、スポット的に使うことがある。



問題点

4

取扱説明書の検索性が、もう少しよければ...

取扱説明書の情報量が多いため、知りたい情報に素早くたどり着けない。



6. オペレーションガイドの作成提案

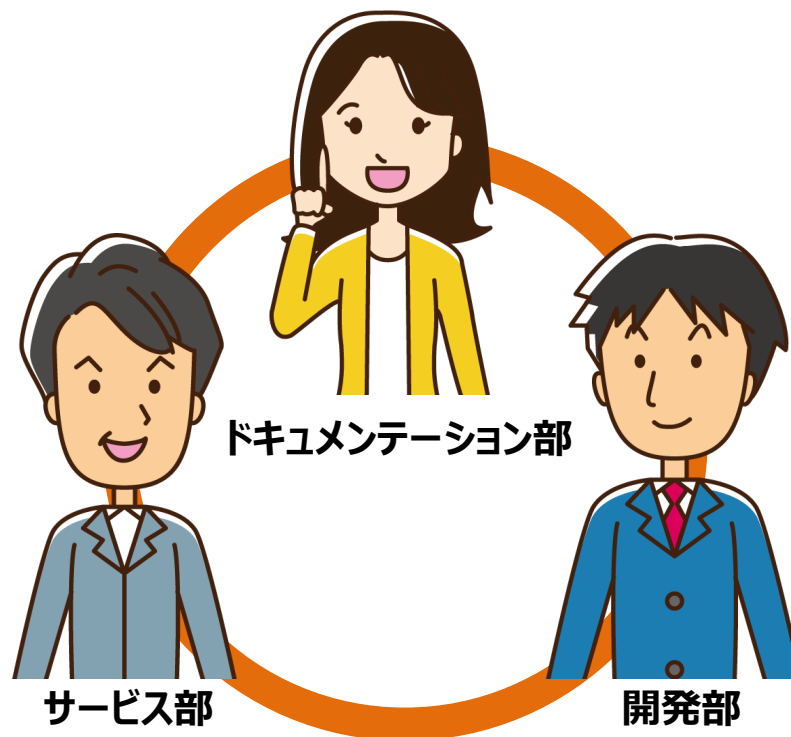
「液体に強いラミネート加工で、基本的な検査手順をまとめたオペレーションガイドを作ませんか？」



オペレーションガイドを装置に同梱すれば、ユーザーは必要な情報をすぐに確認可能



コールセンタ、サービスセンタへの問い合わせの削減



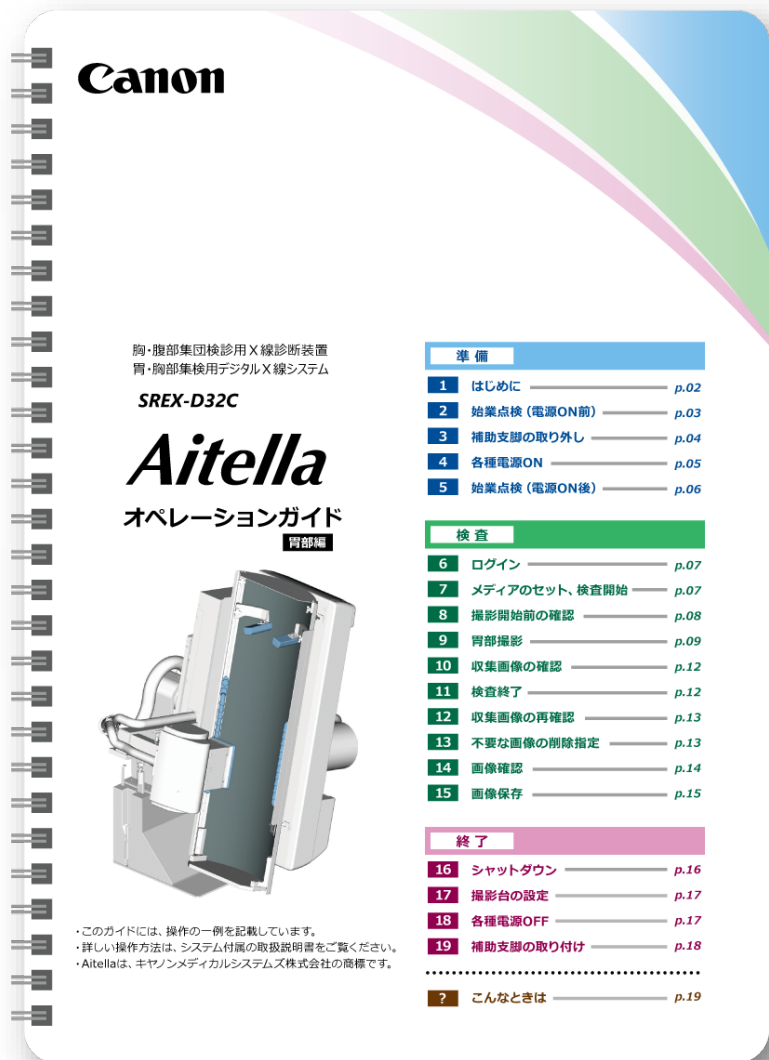
7. オペレーションガイドの内容

検査フローの絞り込み

サービスエンジニアから
現地の使い方調査



8. 工夫した点 (1)



ポイント
1

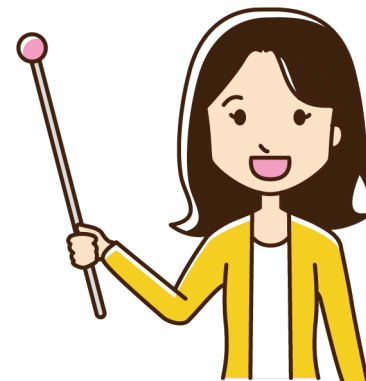
液体に強いラミネートを採用

ポイント
2

読みたいところで折りたためる
リング綴じ

ポイント
3

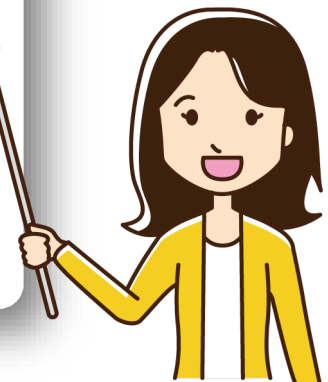
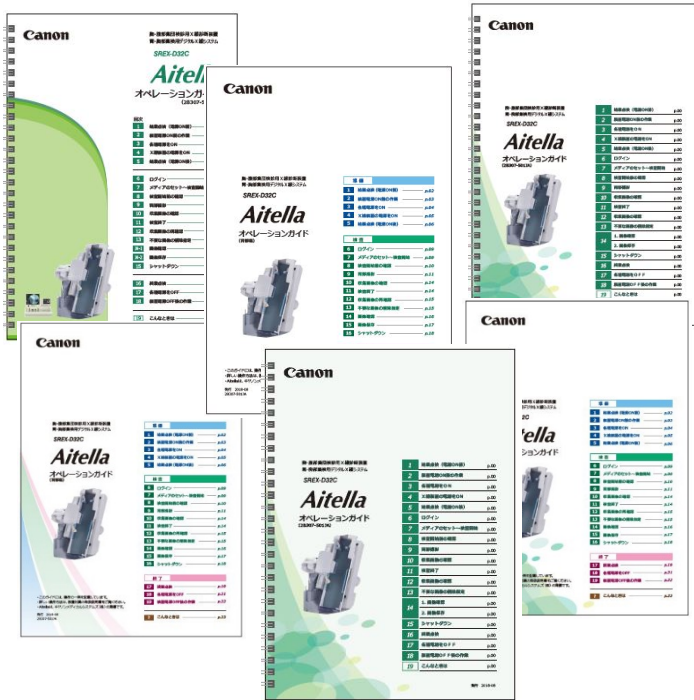
角丸にしてけが防止



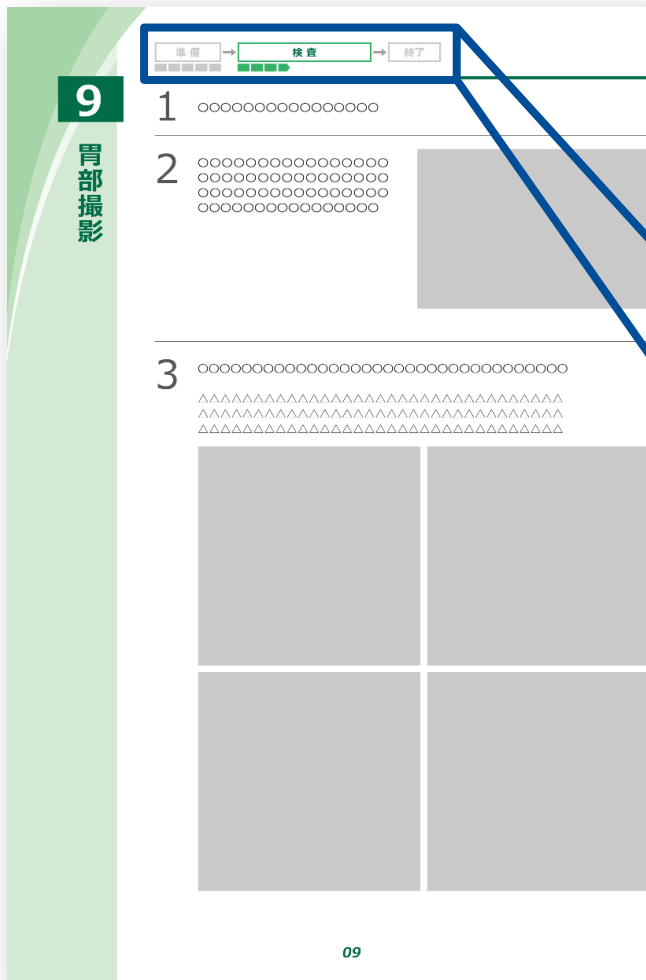
8. 工夫した点 (2)

ポイント
4

検索性の高い表紙デザイン

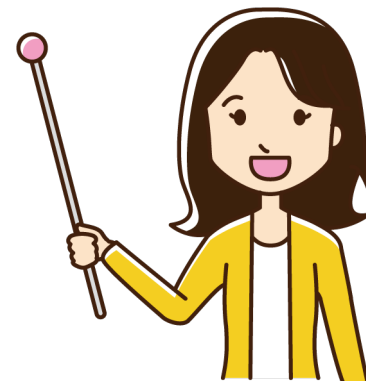


8. 工夫した点 (3)

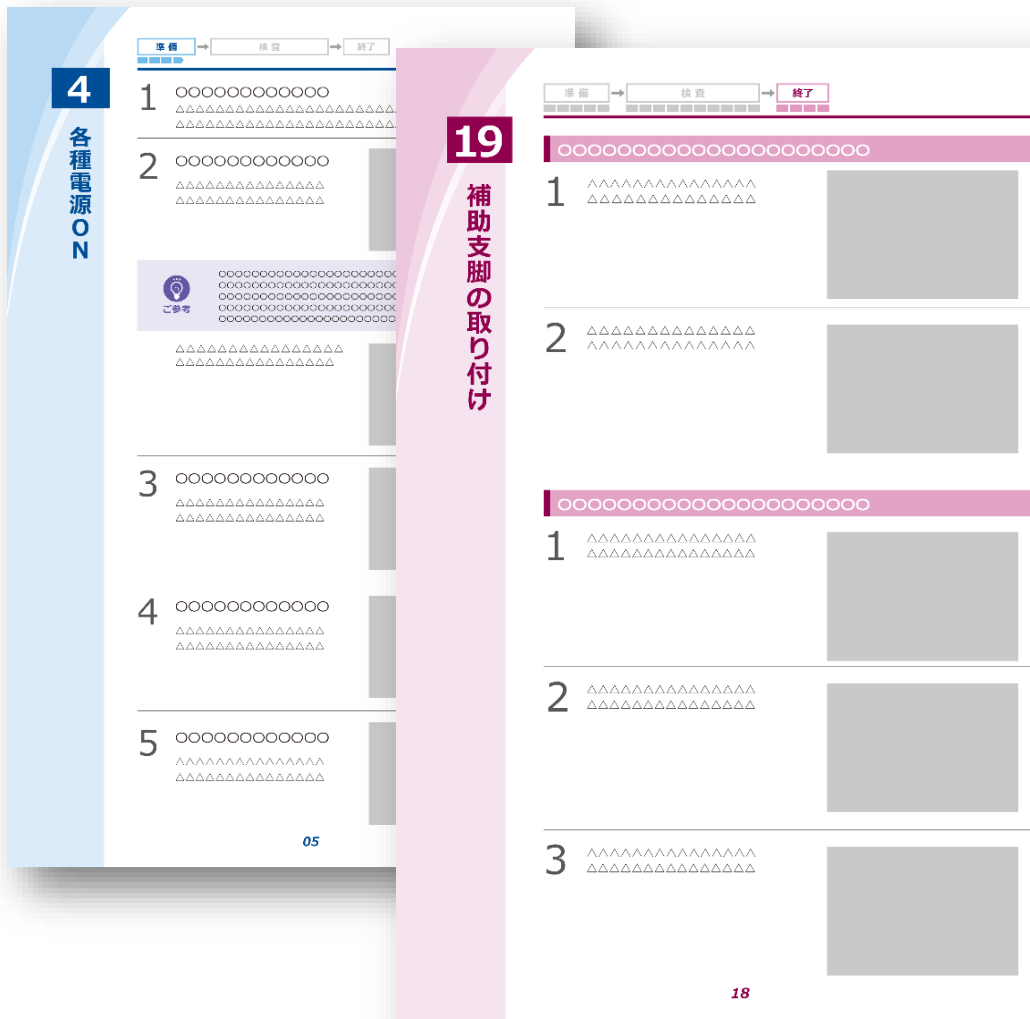


ポイント
5

各ページの進捗アイコン



8. 工夫した点 (4)

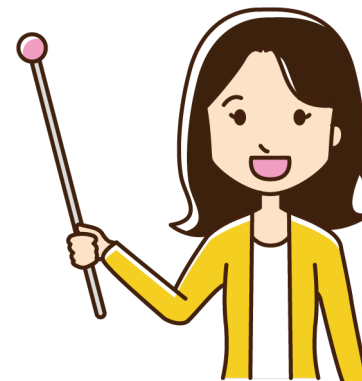


ポイント
6

1 ページ 1 工程

ポイント
7

適度な余白

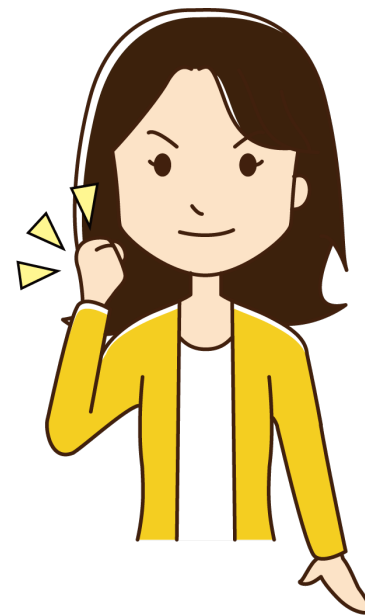


9. 今後に向けて

今回のマニュアルアワードで
審査員の方から頂いたご指摘を踏まえて、
取扱説明書を改善する取り組みを始めました。

改善した内容は、他の装置の取扱説明書にも
横展開していく予定です。

今後も、ユーザーやサービスエンジニアの声を
聞きながら、より使いやすいマニュアルを作って
いきます。



Made For life

キヤノンメディカルシステムズ株式会社